

(終了しました)令和元年度展企画展「eco生活事始め－考古資料から見た上手な資源の使い方－」

更新日：2024年4月1日

今回の企画展は「古代人のeco生活」です

千葉県内では毎年多くの発掘調査が行われ、様々な出土品が保管されています。今回の展示では、千葉県教育振興財団主催の下、袖ヶ浦市郷土博物館共催で、県内で保管されている考古資料から、古代の人びとが限られた資源を節約し、修理し、利用し、転用し、いかにecoな生活を送っていたかを見ていきます。



令和元年度出土遺物公開事業

eco生活 事始め

考古資料から見た上手な資源の使い方

千葉県立房総のむら郷土記の丘資料館
千葉県教育振興財団 1026 0476-95-3533
8月3日(土)～9月23日(月・祝)
展示期間 8月11日(日)・9月1日(日)・9月22日(日)
午前10時～午後2時

松戸市立博物館
松戸市千駄町7-1 0476-364-8151
10月5日(土)～11月24日(日)
展示期間 10月20日(日)・11月17日(日)
午後1時30分～

袖ヶ浦市郷土博物館
袖ヶ浦市下郷田1133 0438-63-0811
令和2年1月11日(土)～3月1日(日)
展示期間 1月26日(日)・2月16日(日)・2月29日(土)
午前10時～午後2時

企画展
令和2年2月8日(土)
午前10時30分～午後3時30分
会場：袖ヶ浦市民会館大ホール
講師：西野雅人(千葉県歴史民俗館センター)
藤田孝次(15財)千葉県教育振興財団
仲光茂樹(東京都市大学教員)

観覧料
450円
※小学生以下、無料

企画展
令和元年11月4日(月・祝)
午後1時～午後3時
会場：松戸市立博物館講堂
講師：上野秀樹(15財)千葉県教育振興財団

観覧料
80円
※小学生以下、無料

主催：千葉県教育振興財団、千葉県立房総のむら郷土記の丘資料館、松戸市立博物館、袖ヶ浦市郷土博物館
協賛：千葉県教育振興財団、千葉県立房総のむら郷土記の丘資料館、松戸市立博物館、袖ヶ浦市郷土博物館
お問い合わせ：15財 千葉県教育振興財団 企画センター 043-424-6660 http://www.achiba.go.jp/bunkaku_top.html

開催のご案内

開催日

令和2年1月11日（土曜日）から令和2年3月1日（日曜日）まで

開催時間

9時から17時まで

休館日

毎週月曜日・祝日の翌日

開催場所

郷土博物館2階特別展示室

入館料

無料

展示内容

1 道具の再加工・補修

壊れた石器や土器、木製品はすぐに捨てることなく、再加工や補修の上で長い間使われました。どのように修理して使用したのか、ご紹介します。

2 道具の転用

壊れたり使わなくなった道具もそのまま捨てず、利用できる物は別の用途でどこまでも利用されました。いったいどのような道具に生まれ変わったのでしょうか。

3 eco生活事始めの世界

環境活動3R「Reuse（再利用）、Recycle（資源再生）、Reduse（ゴミを減らす）」、現代でこそ社会問題として意識的に行う活動ですが、古代の人びとにとっては当たり前の行動でした。第3部では、旧石器時代と縄文時代の資源利用について取り上げ、古代の「循環型社会」について、総合的に解説します。

関連事業のご案内

展示解説会

開催日時

令和2年1月26日（日曜日）・2月16日（日曜日）・2月29日（土曜日） いずれの日も午前10時、午後2時

開催場所

郷土博物館2階特別展示室

申し込み方法

事前の申し込みはありません。直接会場へお集まりください。

講演会

3名の講師を迎え、講演及びパネルディスカッションを行います。

講師

西野雅人（千葉県埋蔵文化財調査センター）
栗田則久（（公財）千葉県教育振興財団）
仲光克顕（東京都中央区教育委員会）

開催日時

令和2年2月8日（土曜日）、午前10時30分から午後3時30分

開催場所

市民会館大ホール

その他

事前申込不要、入場無料

このページに関するお問い合わせ

[郷土博物館](#) 担当

〒299-0255 千葉県袖ヶ浦市下新田1133番地 電話：0438-63-0811 ファクス：0438-63-3693 [お問い合わせはこちらから](#)

重要なお知らせ

一覧

[台風9号（クローサ）に関する注意喚起](#)（2025年7月31日）

[避難所の閉鎖について](#)（2025年7月30日）

見つからないときは

よくある質問と回答